

農山村ふれあい市場に参加してー

11月11日(日)、新宿区歌舞伎町にある大久保公園にて「第7回農山村ふれあい市場」が開催されました。

農山村ふれあい市場は、歌舞伎町を誰もが安心して楽しめる街に再生する取り組み「歌舞伎町ルネサンス」の一環として、大都市新宿と農山村との交流、地域振興、街のにぎわいづくりを目的に平成22年7月からスタートしています。全国各地で農業等を通して地域おこしなどに取り組む団体・自治体が歌舞伎町に集まり、自慢の野菜や果物、特産物を紹介・販売するものです。

7回目の今回は、東日本大震災復興支援イベントとしても位置づけられ、米麺の普及のために今年開催された「R(ライス)麺グランプリ」チャンピオン「三陸うまいつゆスープ」、「ライス麺」、「鯨カレー」、岩手県宮古市の「中村屋のおせんべい」のブースを始め、岩手県陸前高田市からは昆布、ワカメなどの海産加工物などが被災地から出店・販売されました。他には山梨県笛吹市からブドウ、モモ、山梨県石和温泉からは「出前足湯」とワイン、熊本県阿蘇市からはトマト、群馬県沼田市からは柿、東京都内の農場からは新鮮な野菜などのブースが約15店ほど出店し賑わいをみせておりました。

REICからは水井、大園がボランティアとして販売のお手伝いをさせて頂きましたが、このブースは、NPO法人危機管理対策機構が「販売先の開発支援プロジェクト」としてR(ライス)麺グランプリの受賞のお披露目の場として出店・販売していたものです。

会場では他に「日本おやじバンド連盟」の皆さんが終日、昔懐かしい、ベンチャーズや湘南サウンドで、宝塚大学東京メディア・コンテンツ学部のかわいい女学生が「似顔絵描き」で盛り上げていました。

来場者の中には郷里が被災地の方もおられ「東京で支援が出来るのはこれくらいかなー」と言いながら郷里の懐かしい味を楽しむようにまとめ買いをして頂いた方が何人かおられました。

郷里を思う気持ちが伝わり売り手としても清々しい気持ちになり、人はいつまで経っても郷里を思う気持ちは変わらないのだなーと思う瞬間でした。新宿という都会のど真ん中で、都会と田舎を結ぶ絆をみたような気がしました。

(2012.11.14 大園記)

農山村ふれあい市場 ～会場の様子～



ライス麺、おせんべいの販売コーナー
我々がお手伝いをしたところ



会場の風景



ワインの販売コーナー



りんご、梨、柿の販売コーナー



石和温泉の足湯サービス



東京野菜売り場コーナー